



学長挨拶

札幌保健医療大学
学長

小林 清一

札幌保健医療大学は4月2日(土)に札幌市教育文化会館大ホールにて2022年度入学式を挙行致しました。看護学科第10期生111名、栄養学科第6期生56名、栄養学科3年次編入生4名の計171名の新入生をお迎えしましたが、今年度もコロナ禍により広い大ホールの1階席で新入生同士が隣り合うことのない入学式でした。また、3年ぶりに保護者の皆様にも入学式にご臨席をいただき、式終了後に看護学科と栄養学科合同で保護者説明会も実施致しました。

コロナ禍2年目の昨年度を振り返りますと、年度初頭より第4波、夏に第5波、今年始めから第6波と3度も大きな感染拡大に見舞われました。その度に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出され、社会経済はもとより大学教育や大学生活にも非常に大きな影響を及ぼしました。新入生と大学関係者のみの入学式、遠隔授業の実施、臨地実習から学内実習への切り替え、大学行事の多くは中止又はオンライン配信など、変動的なキャンパスライフが繰り返されました。しかし、第5波のさ中の8~9月に新型コロナウイルスワクチンの大学拠点接種を2回実施致しました。第5波が急速に収束したタイミングの11月6日(土)には、両学科2年次生の2020年度入学式と2021年度グローアップセレモニーとをかざる2・7にて同時開催致しました。中止となった入学式を1年半遅れでも体験できた2年次生には特

別な思い出として心に刻まれたと思います。4年生にとっては国家試験の最後の頑張りである1~2月に、オミクロン株による爆発的な感染拡大の第6波が到来し、さらに孤独な試験勉強を強いられました。その影響のためか看護学科第6期生の看護師国家試験及び栄養学科第2期生の管理栄養士国家試験では残念ながら前年度の合格率を上回ることができませんでした。しかし、保健師国家試験では、道内の数大学が初めて不合格者を出す中、本学は第1期生から6年連続の合格率100%を達成致しました。3月14日(月)に2021年度卒業証書・学位記授与式をカナモトホールにて挙行致しました。保護者の皆様と共に看護学科第6期生111名、栄養学科第2期生21名が医療専門職者として社会へ巣立つのをお祝い致しましたが、今回も卒業祝賀会を実施できなかったのは誠に残念至極でなりません。

看護学科では日本の超高齢社会を見据えた看護教育に対応するための新カリキュラムが今年度よりスタートし、栄養学科では3つの選択コース(食育実践コース、スポーツ栄養コース、臨床栄養コース)を組み込んだ新カリキュラムの2年目を迎えました。また、大学の新しい組織として大学院修士課程を2023年度より設置すべく文部科学省に申請中です。

新型コロナウイルス感染の第6波が収束せず、第7波も懸念される中で新年度を開始致しましたが、感染防止対策を徹底しながら可能な限り従前と同様の大学教育を在学生・教職員一丸となって推進する所存です。保護者の皆様へは本学の状況についての情報を遅滞なく直接及び大学ホームページにてお知らせ致しますので、今後共、札幌保健医療大学への更なるご支援を賜ります様何卒宜しくお願い申し上げます。

CONTENTS

学長挨拶	1
学位記授与式	2
卒業生コメント	3
学内活動報告	4
コロナ禍でのイベント	5
国家試験結果	6
就職先一覧・就職にむけて	7
2022年入試結果・学事歴・編集後記	8



学位記授与式



卒業生謝辞

冬の寒さも和らぎ、優しい春の光が差し込み始めた今日の良き日に、私たちは晴れて卒業の日を迎えることができ、卒業生一同大変嬉しく思っています。

新型コロナウイルスの蔓延により大変な時期が続いているなか、本日は、私たち卒業生のためにこのように盛大な卒業式を挙げて頂きまして、誠にありがとうございます。

ご臨席を賜りましたご来賓の皆様、ならびに、学長先生をはじめ、諸先生方、ご多忙にも関わらずご出席下さいました皆様に、卒業生一同心よりお礼申し上げます。先程は、過分なご祝辞と激励のお言葉を賜り、喜びとともに、私たちに与えられた使命と責任の重さを実感し、身が引き締まる思いです。

今日に至るまで同じ志を持った仲間と出会い、共に笑い、学んだ四年間は長いようで短く、これからそれぞれの道を歩む私達にとって、意義のある貴重な時間でした。

四年前の春、私たちは札幌保健医療大学の一員として新しい一歩を踏み出しました。大きな期待と不安を抱きながら迎えた入学式のことを懐かしく思うと同時に、あの時と同じ気持ちや決意を胸に、新しい一歩を踏み出すことができる喜びを実感しています。

大学一年生、講義や友人関係など、何もかもが初めてである環境において、緊張と不安がある反面、大学生活への楽しみや期待を持ち、過ごしていた入学当初を今でも鮮明に思い出します。講義では、初めて聞く言葉に戸惑いつつも、自らの努力や友人、先輩、先生方の協力を得て、恵まれた環境の中、今日まで勉学に励むことができました。

初めての臨地実習では、看護の実際を目の当たりにし、自分の無力さ、知識不足を痛感し、現場で働く看護師の偉大さを感じることができました。

大学二年生では、初めて一人の患者さんを受け持ち、思い描く看護を実践すること、その人の生活に合った看護を考えることの難しさを知りました。その一方で、個別性のある看護というものを様々な観点から学び、看護の奥深さややりがい、多様性を知ることができました。自分が行った看護で患者さんから感謝の言葉をいただいたときは、今以上に患者さんの役に立てるように努力しようと決意を強めることができました。

大学三年生、四年生の時は、感染症の拡大の影響を受けて、例年と異なる授業体制、実習となりました。いつもの日常から一変し、友人や先生方と容易に会うことができず、何気ない日常の楽しみを

失い、将来への漠然とした不安が募りました。

就職活動、看護総合実習、看護研究、国家試験勉強など大学四年間で最も多忙のなか、心が挫けそうな毎日でした。

しかし、先が険しく辛い道のりも笑顔で乗り越えられたのは、仲間や先生方、家族の存在があったからだと思います。きっとこの四年間は、決して自分一人の力では乗り越えることはできませんでした。

不安や悩みをいつでも親身に聞いてくださった先生方。時には弱音を吐くこともありましたが、先生方の存在やお言葉があったからこそ、これまで看護を楽しく学ぶことができました。

いつも近くで見守ってくれた家族。私の一番の応援団として、優しく背中を押してくれてありがとう。居場所があったからこそ、自分らしく今日まで突き進むことができました。

そして、同じ道を共に歩み、手を取り合い高めあった仲間たち。日々の楽しみを共有し、辛さを分け合い、夢に向かって歩んできた日々は私にとって宝物です。この仲間たちに出会えたことを、心から幸せに思います。本当にありがとう。

私は、この四年間、看護に携わる者としての技術・知識を学ぶだけでなく、実習や日々の大学生活で様々な人に出会い、人としての心・優しさ、豊かな考え方を身に付けることができました。これから医療従事者としてそれぞれの道を歩む過程で、新たな壁にぶつかることもあると思いますが、札幌保健医療大学で得たこと、培った人間力や経験に誇りと自信を持ち、新たな学びを得ていきたいと思えます。

また、お世話になった友人・先生・家族、そして今まで出会った患者さんや地域の人々への恩を決して忘れず、思いやりと優しさを持って、人々の生活や生きがい、命を守るように、日々精進して参ります。

最後になりますが、今日までご指導してくださった先生方、温かく見守ってくれた家族、お世話になったすべての方々へ改めて感謝申し上げますとともに、本学の益々の発展をお祈りいたしまして、答辞とさせていただきます。

二〇二二年三月十四日

札幌保健医療大学 保健医療学部 看護学科
卒業生代表 坂田 莉子

卒業生コメント

看護学科 坂田莉子 (八雲高校卒)

就職先: 俱知安町

本学を卒業するにあたり、これまでの4年間を振り返ると長いようで短く、とても充実した有意義な時間でした。入学当初、高校との勉強の違いに戸惑っていた毎日を懐かしく思います。学年が上がるにつれて、専門的な知識をより一層深め、これまでに学んだことを活かしながら、「患者さんに寄り添った看護」とはなにかを講義や実習を通して、自分なりに探求することができたと思います。また、私の学年は、感染症の拡大の影響を受けて、例年通り実習にける機会が少なかったのですが、先生方のおかげで学内での実習でも多くのことを学ぶことができました。また、実際に、病院や地域へ実習に行けた際は、患者さんと地域の方々と直接接して学べることもとても多く、たくさんのやりがいや刺激を得ることができました。日々、学びが深まる一方で、正直、大変なことや辛いことも多かったです。時には、実習や就職のことで思い悩み、挫けそうになった時もあります。ですが、いつも温かい言葉をかけてくださった先生方、苦楽を共にしてきた友人たち、ずっとそばで応援しつづけてくれた家族のおかげで、今まで楽しく看護を学ぶことができたと思っています。改めて振り返ると、これまで多くの方々を支えられてきたおかげで、大学生活を笑顔で送ってこられたのだと実感しています。そして、私は、本学で看護の技術・知識を学ぶだけでなく、忍耐力や豊富な考え方、人間力など様々なものを得ることができ、ひとりの人間としても成長することができたと思っています。これまで本学で過ごした4年間は、私にとって貴重な時間であり、大切な宝物です。

これからは、今までお世話になった方たちへの恩を決して忘れず、人々の命や生活を守っていけるように日々精進していきたいと思っています。4年間、ありがとうございました。



看護学科 小坂健太郎 (帯広緑陽高校卒)

就職先: 手稲溪仁会病院

本学を卒業するにあたり、大学生活を振り返るとさまざまな思い出がよみがえり、人として大きく成長できた4年間であったと感じています。

入学当初は、漠然とした希望や不安に追われながら講義や実習をこなしていました。また、新型コロナウイルスの影響で入学当初に思い描いていた大学生活とは大きくかけ離れたものとなってしまいました。しかし、新型コロナウイルスが流行する中で、看護という学問について学びを深めたことには非常に大きな意味があったと感じています。講義は対面から遠隔へ、実習は臨地実習から学内実習へと変わり、人と直接関わることの重要性を学んだと同時に、直接会うことができない相手の気持ちや考えを想像して関わる機会が非常に多くなりました。これらの学びや経験はコロナ禍で看護を学んだ私たちの強みだと思います。看護師として働くにあたり、臨地実習の経験が乏しいことが不安ではありますが、学生のうちにコロナを経験し、乗り越え、看護師となることを強みに日々精進していきたいと思っています。

教職員の方々からは知識や技術だけでなく、看護の難しさや素晴らしさ、奥深さについて学ばせていただきました。また、大学生活を送るにあたっての不安や悩みなどを親身になって聞いてくださり、心の支えとなってくださいました。また、学友会のメンバーとして行事の企画や運営をしたことは大きな経験であり、色褪せない思い出です。切磋琢磨してきた友人たちにも感謝の気持ちでいっぱい입니다。私が大学で学んだことや経験したこと、出会った人たちはかけがえないものであり、今後の人生における宝物です。札幌保健医療大学の学生であったことを誇りに自分の目指す看護師に少しでも近づけるよう必ずつ前進していきたいと思っています。



栄養学科 山本真由 (帯広農業高校卒)

就職先: 特別養護老人ホームひかりの

卒業を迎えるにあたり、札幌保健医療大学で過ごした4年間を振り返ると、私にとってとても充実した思い出がたくさんありました。2期生として入学して以来、先輩が1学年のみということもあり勉強や就職活動、国家試験など多くの不安を感じていました。しかし、教職員の方々や先輩達に親身になって相談にのって頂いたことや勉強のみならず多くのことを教えていただいたことで安心して勉学に励むことができました。また、同級生とは支え合い切磋琢磨してお互いを高め合うことで大きく成長をすることができました。このように教職員の方々や先輩方、友人、家族などのたくさんの支えがあり人生における宝物となるような思い出となりました。

大学生活は楽しいことや嬉しいことも多くあった一方、コロナ禍で遠隔授業になったことや臨地実習が学内実習になったことなどの不安も多くありました。しかし、だからこそ学べたこともたくさんありました。遠隔だからこそ自宅で授業を受けるための自己管理や、授業時間外に時間を合わせてオンラインで作業を進めたことなど、自ら学びに行く積極性や協調性を学ぶことができました。このような経験はとても貴重な学びとなりました。今後はこの経験を活かして積極的に行動ができるようになりたいと思っています。

また、国家試験の勉強でも先生方にとても支えていただきました。わからないことを丁寧に教えていただき、試験直前で不安が尽きない時には、励ましのメッセージを頂き1人ではないと思うことができました。

このように有意義なキャンパスライフを過ごすことができたのは教職員の方々のご尽力のおかげです。心より感謝いたします。この4年間は自身と向き合い、卒業後の将来を思い描くことができたかけがえのない時間でした。これからは大学生活で学んだことを活かし、対象者の方々に寄り添った栄養管理をしていきたいと思っています。



栄養学科 寺島葵 (岩見沢西高校卒)

就職先: 三愛病院

新しい大学生活に期待を寄せて4年前の春、私は本学に入学しました。それから瞬間に月日が流れ、振り返るとさまざまなことが思い出されます。この4年間は、決して楽しいことばかりではありませんでした。自分の想像以上に授業は簡単ではなく、国家資格を取得するためには幅広い知識と経験が必要であることを痛感し、ただひたすら課題をこなす毎日でした。専門的な知識を学びたいと思い大学に入学しましたが、目の前の課題やテストなどで精一杯だった私は、このままで本当に自分の身になっているのか不安に思うこともありました。

それでも直向きに努力することができたのは、周りの友達や先生が共に悩み、考え、行動してくれたからです。周りの人に支えられながら多くの経験を重ねていくうちに、過去に自分が頑張った経験を活かす瞬間があり、そのときに初めて今までの努力は決して無駄ではなかったのだと実感することができました。

私は、この経験をきっかけに自ら「行動」や「挑戦」をするようになりました。行動や挑戦をした結果、成功からは自信が得られ、失敗からは反省・改善点を探し出すことができれば、次の挑戦に活かすことができると知りました。この経験から自分の気持ちに変化が現れ、初めは行動や挑戦をすることに対して「怖い」と感じていたことが、気づいたら「楽しそう・やってみよう」という前向きな気持ちの方が大きくなっていました。

私が中学生のときに出会い、今でも心の支えとなっているフランスの思想家の言葉、「生きることは呼吸することではない、行動することだ」という言葉の意味を身をもって知ることができたと感じています。些細なことでも、行動することを得るものが必ずあると思います。

4月からはこの4年間の経験を活かし、現状に満足せず、さらなる知識の向上を目指して自ら学ぶ姿勢を持ち、1人でも多くの人の健康に貢献していきたいです。



学内活動報告

入学式

2022年4月2日、札幌市教育文化会館大ホールにおいて、2022年度札幌保健医療大学入学式を挙行了いたしました。今年度は看護学科111名、栄養学科56名、栄養学科編入学4名、合わせて171名が入学し、新たな一歩を踏み出しました。式では小林清一学長から「大学教育は大学在学中の四年間だけのためではなく、卒業後の皆さんの四十年、五十年あるいは一生のための教育です。どのような状況下であっても目の前の一つ一つの課題に対して真摯に向き合い、それらを着実にクリアすることが最も重要です。困難な事態に直面した場合には、それを乗り越えた時の満足感を先に思い浮かべながら取り組んでみてください。その度に自分が少しずつ成長していることを実感し、自信を深めることができます。」との式辞がありました。

新入生の皆さん、そのご家族の皆様、ご入学、おめでとうございます。



オープンキャンパス

6月から3月にかけて、2021年度のオープンキャンパスを実施いたしました。新型コロナウイルスの影響により、オンラインによる実施もありましたが、大変多くの方にご参加いただきました。ご参加いただいた皆様ありがとうございます。新たな試みとして、校舎内を自由に行動できる校舎見学を実施しました。2022年度もオープンキャンパスを実施してまいります。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。



グローアップ 2年生入学式

2021年11月6日、新型コロナウイルス感染症の影響で叶わなかった現在3年生の入学式が、グローアップセレモニーとともに開催されました。

入学式後のグローアップセレモニーでは、本別町総合ケアセンター保健師の飯山明美様にご講演いただき、学生は改めて医療職を目指す実感が湧いていたようです。

なにより、皆さんの笑顔が眩しく、「2年生の入学式」が、これからも皆さんの心に残ると良いと思っております。

改めまして、ご入学おめでとうございます！



コロナ禍でのイベント

オンライン大学祭

令和3年11月13日(土)に、初の試みであるオンライン大学祭を行いました。コロナ禍によって多くの行事を中止にせざるを得ないこの状況から再出発したいという気持ちを込め、テーマを「Re start」としました。一からの企画だったことに加え、コロナ禍の影響で学友会・実行委員が全員で集まれる機会がほとんどなく、私自身が企画・運営に慣れていないこともあり、準備が思うように進まないこともありました。企画内容としては、コロナ化で見つけた光、これからの生活で望むものを写真、イラストなど様々な表現の仕方で応募をしてもらう“コロナ禍の光”コンテスト。今年最大の運試し!3連じゃんけん!!。この企画は一般の方も参加することができました。ここでしか見られない先生たちの意外な一面が垣間見える動画やゲストの方による動画。この3つの企画を行いました。当日には、想像していた人数よりも多くの方に参加して頂き、大きな問題もなく無事成功させることができました。以前コロナ禍ではありますが、学友会・実行委員、先生方等、多くの方々の協力を得て、閉じていた扉が開き再び1歩踏み出せたのではないかと思います。今回のオンライン大学祭を通して、学友会会長として企画、運営をしてみて、できないから諦めるのではなく、できる方法を探すということは、あたり前のようですが大切なことだと再認識できました。

学友会会長
田中亜夢(市立函館高校卒)



栄養学科 巨大お菓子アート (おおきなかぶ)

3月31日、栄養学科学生が本学体育館において、『沢山の種類のお菓子やパッケージを用いた【おおきなかぶ】の巨大なイラスト』を作成しました。このお菓子やパッケージは、江崎グリコ株式会社様にご協力を頂き、販売に至らなかったメーカー在庫品を提供して頂いたものです。SDGsが叫ばれる今、食品ロスに対する学びと意識を高めるといった観点から、貴重な体験となりました。



公開講座

2021年10月30日、紀伊国屋書店札幌本店において、「光と食とサーカディアンリズム」をテーマとする第12回公開講座を開催しました。

看護学科萩野悦子教授が「サーカディアンリズムと睡眠～光を上手に使いましょう～」、栄養学科千葉昌樹教授が「時間栄養学とタイミングの栄養学～本当に朝食って必要な?～」を演題とする講演を行い、多くの皆さんに聞いていただきました。

札幌保健医療大学 第12回公開講座
光と食とサーカディアンリズム
「良質な睡眠のための生活のヒント!」

みなさんご自身の睡眠に満足していますか。質の良い睡眠とはどういう睡眠をさすのでしょうか。今回はサーカディアンリズムに焦点を当て、光や食事の睡眠への影響と質の良い睡眠のための生活について考えてみます。

サーカディアンリズムと睡眠
～光を上手に使いましょう～
保健医療学部看護学科 教授 萩野悦子

時間栄養学とタイミングの栄養学
～本当に朝食って必要な?～
保健医療学部栄養学科 教授 千葉昌樹

コーディネーター
保健医療学部看護学科 教授 廣藤 早香枝

日時：2021年10月30日(土) 参加料無料 ※当日会場にお越しください
14:00～15:30 定員：48名

場所：紀伊国屋書店札幌本店
sipporo55ビル
1階インナーガーデン
(札幌市中央区北五条西5丁目7)

- 立ち見は厳禁させていただきます
- マスクの着用をお願いします
- 会場入口にて手指消毒の協力をお願いします

後援：札幌市
道民カレッジ連携講座

国家試験結果

◎看護学科第6期生国家試験結果

第111回看護師国家試験は、
本学から111名が受験し107名が合格しました。

本学合格率

96.4%

第108回保健師国家試験は、
本学から9名が受験し9名が合格しました。

本学合格率

100%

◎栄養学科第2期生国家試験結果

第36回管理栄養士国家試験は、
本学から21名が受験し14名が合格しました。

本学合格率

66.7%

国家試験合格おめでとうございます！

三職種講演

2021年11月10日、看護学科1年次生を対象とした「三職種講演会」を実施しました。この講演会は学生が看護職として勤務する本学卒業生のお話を聞き、自分自身の将来の方向性、就職を選択するための一助となるように開催しています。

昨年も実際に保健師、助産師、看護師として従事されている卒業生をお招きいたしました。看護師を目指したきっかけや現在の業務内容、学生時代の勉強についてなど、卒業生ならではの視点でお話をいただきました。



キャリア支援室について

本学は学生が主体的に4年間の学習を積み重ねることにより、自己の目標を明確にして学修し続ける専門職業人の育成を目指しています。本学のキャリア支援は「国家試験対策」と「進学・就職支援」を行っており、特にキャリア支援室は大学に届く求人情報や先輩が残してくれた受験情報など、たくさんの情報を公開しています。また、就職に関する相談や模擬面接、履歴書・エントリーシートの添削を行っています。



就職先一覧

看護学科

【病院・クリニック】

JCHO札幌北辰病院、JCHO北海道病院、JR札幌病院、NTT東日本札幌病院、愛心メモリアル病院、愛全病院、旭川医科大学病院、熱海所記念病院、板橋中央総合病院、イムス消化器中央総合病院、医療法人たんぼ小児科、江別病院、柏葉脳神経外科病院、クラーフ病院、恵佑会札幌病院、香雪病院、国立がん研究センター東病院、埼玉医科大学病院、札幌医科大学附属病院、札幌厚生病院、札幌心臓血管クリニック札幌、徳洲会病院、札幌西円山病院、札幌東徳洲会病院、札幌北楡病院、札幌山の上病院、社会医療法人宏潤会大同病院、昭和大学江東豊洲病院、市立札幌病院、製鉄記念室蘭病院、千葉大学病院、禎心会病院、手稲溪仁会病院、東邦大学医療センター大橋病院、東邦大学医療センター大森病院、斗南病院、名古屋大学医学部附属病院、名寄市立総合病院、函館五稜郭病院、東札幌病院、北海道大野記念病院、北海道がんセンター北海道大学病院、恵み野病院

【公務（保健師）】

苫小牧市、名寄市、倶知安町、沼田町、本別町、泊村

【進学】

旭川高等看護学院

栄養学科

【公務】

北海道、羽幌町

【医療・福祉】

旭川医科大学病院、小樽四ツ葉学園中央保育所、株式会社しつたん、三愛病院、手稲つむぎの杜、特別養護老人ホームひかりの、ニチイキッズさっぽろ駅北口保育園

【製造】

横山製粉株式会社

【流通】

生活協同組合コープさっぽろ

【サービス】

エムサービス株式会社、エムエムピー株式会社、株式会社クリエイティブ食彩倶楽部、日清医療食品株式会社

就職にむけて



看護学科

小倉早藍 (苫小牧東高校卒)

就職先

苫小牧市 (保健師)

実習や試験、新型コロナウイルスによる影響など、大変な事も多くありましたが、支え合える友人がいたからこそ、乗り越え、楽しかったと感じる事ができるのだと思います。

多くの方々に支えられていた私ですが、4月からは保健師として、地域で生活する多くの方々に支えられるよう頑張りたいと思います。また、少しでも多くの方に、この町でよかったと思ってもらえるよう、全力で頑張ります！



看護学科

神田琳久 (岩見沢西高校卒)

就職先

埼玉医科大学
総合医療センター

入学時の大学選択で迷っていましたが、札幌で学ぶことができ良かったです。埼玉医科大学総合医療センターでは以前から自分が希望していた救急看護の道に進むことが決まりました。大学で学んだことを活かし、患者さんや家族の希望に沿った看護、安全な医療を提供できるように頑張ります。在校生やこれから札幌生となる方たちは、コロナ禍で大変なこともあると思いますが、自分のなりたい看護師像を持って頑張ってください。



看護学科

カク美月 (札幌北陵高校卒)

就職先

北海道大学病院

大学生活の半分はコロナ禍という、入学時には思いもよらなかった日々を過ごしましたが、先生方、職員の方々の支えにより、4年間一緒に学んだ仲間と共に卒業できたことを嬉しく思っています。4月からは急性期の病院で働くこととなりますが、どのような環境下でも、笑顔絶やさずに患者さんの心に寄り添える看護師になりたいと思います。また、大学で学んだことに加え、さらにしっかりと知識や技術を身につけて日々成長していきたいです。



栄養学科

岩間望菜 (札幌旭丘高校卒)

就職先

エムサービスジャパン
株式会社

大学生活の半分はコロナ禍で不自由な生活が続きましたが、先生方・職員の方々の皆さん、そして家族・仲間たちのおかげで卒業式を迎えることができ、とても感謝しています。

まだ続くコロナ禍での就職に不安はありますが、利用者様の食が楽しみになってもらえるように頑張りたいと思います。



栄養学科

江尻萌華 (滝川高校卒)

就職先

羽幌町

4年間の大学生活は、本当にあっという間に過ぎていきました。半分はコロナの影響を受けたため、できなかったことも多々ありました。ですが、コロナ禍で学生生活を送ったことを悲観するばかりではなく、自分の中の貴重な経験の1つとして捉えたいと思います。制限がある中でも、人とのつながりが消えることはありませんでした。この経験を踏まえ、人とのつながりを大切にし、管理栄養士として住民の方々のために頑張っていきます。



栄養学科

鈴木萌花 (札幌北陵高校卒)

就職先

株式会社クリエイティブ

4年間の大学生活は、今までの学生生活の中で1番短く感じました。それは、日々の勉強や実習などで大変なこともありましたが、大学生活がとても充実していたからだと思います。

4月から、これまで勉強してきた知識を元に少しでも早く業務に慣れ、周りから信頼される管理栄養士になれるよう明るく元気に働きたいと思っています。

2022年度 入試結果

入試区分別志願者・受験者・合格者・入学者数

看護学科						
入試区分	募集人数	志願者	受験者	合格者	入学者	倍率
総合型前期	5	49	49	14	12	3.5
学校推薦型	45	57	57	53	53	1.1
一般前期	A日程	28	194	181	91	2.0
	B日程	9	89	82	33	2.5
一般後期	4	24	21	12	7	1.8
共通テスト利用	前期	5	105	104	50	2.1
	中期	2	5	5	3	1.7
	後期	2	5	5	2	- 2.5
合計	100	528	504	258	111	2.0

栄養学科						
入試区分	募集人数	志願者	受験者	合格者	入学者 [*]	倍率
総合型	前期	10	20	20	20	1.0
	後期	5	2	2	2	1.0
学校推薦型	35	29	29	29	29	1.0
一般前期	A日程	10	14	12	10	1.2
	B日程	10	2	1	1	- 1.0
一般後期	2	1	1	1	2	1.0
共通テスト利用	前期	4	17	16	16	2 1.0
	中期	2	2	2	2	- 1.0
	後期	2	1	1	1	- -
合計	80	88	84	82	56	1.0

*入学者には追加合格者を含む

学事暦(年間行事)

4月	入学式／新入生歓迎会
5月	開学記念日／体育大会／看護学科3.4年次臨地実習開始
6月	栄養学科4年次臨地実習／栄養学科4年次教育実習 オープンキャンパス
7月	看護学科1年次看護基礎実習I／オープンキャンパス
8月	前期定期試験／オープンキャンパス
9月	前期学位記授与式

10月	大学祭／オープンキャンパス
11月	グローアップセレモニー／看護学科2年次看護基礎実習II
12月	冬期休暇
1月	
2月	後期定期試験
3月	学位記授与式／オープンキャンパス

*新型コロナウイルス感染症拡大により、予定が変更となることがあります。

編集後記

例年にない大雪に見舞われた冬が去り、札幌にも北海道らしい爽やかな春を迎えることができました。2021年度は相変わらずの新型コロナウイルス感染が続き、本学の教育活動も感染防止の徹底を図りながら、様々な制限を強いられる展開となりました。体育大会、大学祭などの一部の学内行事は実施を見送り、日々の講義や実習・実験は対面での実施を基本としつつもリモートも活用しなければなりませんでした。幸いに、感染防止対策を徹底した中でオープンキャンパスやグローアップセレモニーなどの行事や、とくに3月14日には保護者のご参列の下で学位記授与式を挙げてきたことは何よりであり、看護学科第6期生、栄養学科第2期生の卒業生が社会に巣立つ姿を見ることができ、教職員にとってこの上ない喜びを感じました。

ここにWILL(No.9)が完成しました。2021年度の本学の教育活動等をご紹介しますので、ご高覧頂けると幸いです。

世界に目を向けますと、武力による隣国への侵攻という悲惨な事態が起き、今なお解決の糸口が見いだせない状況にあります。一刻も早く、世界に平和が戻りますことを切望し、編集後記とさせていただきます。

入試広報委員長 荒川義人